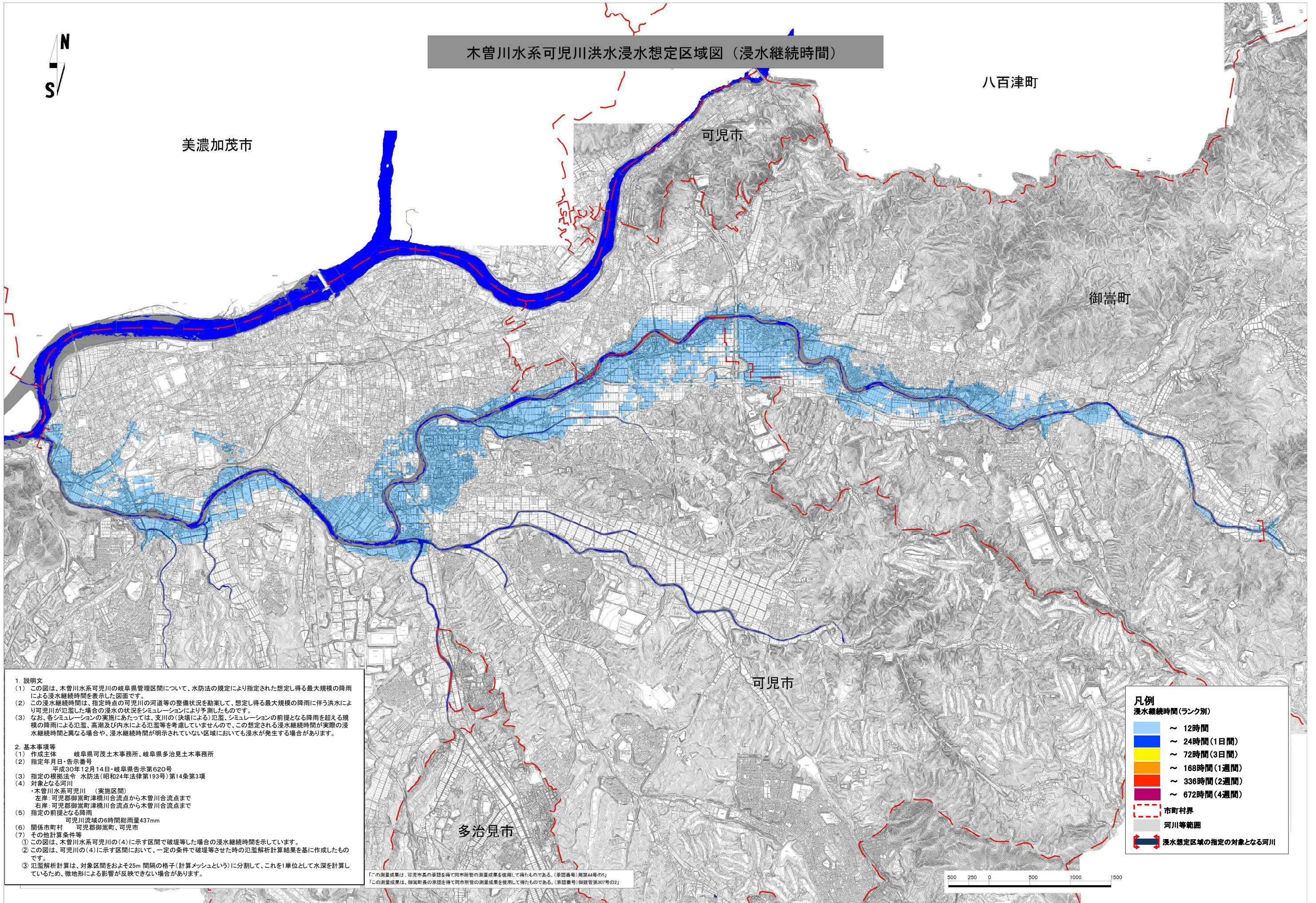
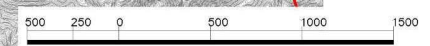


木曾川水系可児川洪水浸水想定区域図（浸水継続時間）



- 1. 説明文**
- (1) この図は、木曾川水系可児川の岐阜県管理区間について、水防法の規定により指定された想定し得る最大規模の降雨による浸水継続時間を表示した図面です。
 - (2) この浸水継続時間は、指定時点の可児川の河道等の整備状況を勘案して、想定し得る最大規模の降雨に伴う洪水により可児川が氾濫した場合の浸水の状況をシミュレーションにより予測したものです。
 - (3) なお、各シミュレーションの実施にあたっては、支川の（決壊による）氾濫、シミュレーションの前提となる降雨を超える規模の降雨による氾濫、高潮及び内水による氾濫等を考慮していませんので、この想定される浸水継続時間が実際の浸水継続時間と異なる場合や、浸水継続時間が明示されていない区域においても浸水が発生する場合があります。
- 2. 基本事項等**
- (1) 作成主体 岐阜県可茂土木事務所、岐阜県多治見土木事務所
 - (2) 指定年月日・告示番号 平成30年12月14日・岐阜県告示第620号
 - (3) 指定の根拠法令 水防法（昭和24年法律第193号）第14条第3項
 - (4) 対象となる河川
 - ・木曾川水系可児川（実施区間）
 - 左岸：可児郡御嵩町津橋川合流点から木曾川合流点まで
 - 右岸：可児郡御嵩町津橋川合流点から木曾川合流点まで
 - (5) 指定の前提となる降雨
 - 可児川流域の6時間総雨量437mm
 - (6) 関係市町村 可児郡御嵩町、可児市
 - (7) その他計算条件等
 - ① この図は、木曾川水系可児川の（4）に示す区間で破堤等した場合の浸水継続時間を示しています。
 - ② この図は、可児川の（4）に示す区間において、一定の条件で破堤等させた時の氾濫解析計算結果を基に作成したものです。
 - ③ 氾濫解析計算は、対象区間をおよそ25m 間隔の格子（計算メッシュという）に分割して、これを1単位として水深を計算しているため、微地形による影響が反映できない場合があります。

【この測量成果は、可児市長の承認を得て同市所管の測量成果を使用して得たものである。（承認番号）用第44号の5】
 【この測量成果は、御嵩町長の承認を得て同市所管の測量成果を使用して得たものである。（承認番号）御建管第307号の2】



凡例

浸水継続時間（ランク別）

~ 12時間
~ 24時間（1日間）
~ 72時間（3日間）
~ 168時間（1週間）
~ 336時間（2週間）
~ 672時間（4週間）

市町村界
 河川等範囲
 浸水想定区域の指定の対象となる河川